

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/09/01~2017/09/30)

1. 勉学の状況

一学期の始まりは九月の六日からで、今期は講義を四つ取ることにしました。千葉大とは違い、講義ごとに授業時間やコマ数が異なり、スケジュール管理がやや面倒です。講義は環境系のものを二つ、環境系生物学の講義を二つという構成です。いざ講義が始まってみると、自分が心配していたよりも言葉が聞き取れ、内容も理解できていることに気づきました。しかし問題は、グループディスカッションやグループでのプレゼンテーション準備の際に効果的な発言ができないことです。一つのトピックについて様々な知らない単語が高速で飛び交い、自分が一つを理解するころには周りは二つも三つも先にいます。自分がグループの足手まといになってしまうのではないかという不安に駆られることが多いですが、事前に基礎知識を多く身につけて会話に少しずつ参加できるように頑張っています。また、教授によっては喋り方に癖がある方がいらっしゃるため、聞き取りにくい場合がありますが、最近では耳が慣れたのか聞き取れるようになってきました。

2. 生活の状況

大学の中には三種類の寮があり、そのうちの一つに住んでいます。部屋はあまり大きいとは言えないシェアルームで、勉強机とベッドとクローゼットがあるだけです。交換留学生は枕とベッドシーツ、ブランケットがもらえるので寝具を買う必要はありませんでした。アイルランドから来た新生と一緒です。彼はスポーツ推薦で大学にきただけあって、毎日部活で忙しそうです。生活リズムの違いであまり夜寝るとき以外では部屋で会うことはないですが、彼の友達を紹介してくれたり、手品を見せてくれたりと面白い人です。

寮を出て10秒ほど歩くとダイニングホールがあります。私は毎日何回でもご飯を食べに行ける7days meal planにしたのでとても便利です。毎日様々な料理が出ますが、ピザ、ハンバーガーやポテトなどは固定でおいであり、ジャンクフードが好きな私を太らせに来ています。もちろん野菜も取るようにしていますが、こちらの野菜は正直おいしくはないです。また、meal planを申し込むと学生証に100ドルがチャージされます。この100ドルは、大学内のTim Hortonsなどのカフェで使うことができるそうなので、たまにそこでドーナツとコーヒーを頼んでゆったりしています。

大学には様々な施設がありますが、そのなかでも一番目についたのは広いプールやスポーツジム

などが完備されたスポーツセンターです。学生は無料で入れるので、ほとんど毎日ジムに通っています。この一か月で体重が 5 キロ増えましたが、無駄に太るだけではなく脂肪を順調に筋肉に変えていっています。日本に帰るころには理想の体を手に入れていると思います。

大学に来てからはまず、日本人コミュニティを探しました。こちらに正規の学生として入学、編入した日本人の学生や、日本から交換留学で来ている学生などと多く（20 人ほど）知り合いました。9月のうちはコミュニティから情報を得つつ、イベントに参加して交友関係を増やそうと努めました。結果、「知らない人」から「顔見知り」程度には仲良くなった人は沢山いると思います。

先日、こちらに来てから初めて大きな買い物をしました。それは赤毛の안의ミュージカルのチケットです。今年最後のミュージカルだったらしく、逃すまいと購入しました。赤毛の安はアニメを見ていたので、ミュージカルで何を歌っているのかわからない時でも事前の知識が理解を促してくれて楽しめました。このプリンスエドワード島の観光シーズンは夏なので、ミュージカル同様にこれから繁華街もおとなしくなり、様々な施設が閉まってしまいます。せめて10月中に様々なところへ観光に出かけたいと思っています。

大学の周りにはスーパーや百貨店、服屋、本屋などがあり、必要なものはそこですべてそろいます。こちらに来てからは、洗濯物かご、洗剤、ハンガー、ノート、下着などを買に行きました。寮にある洗濯機は有料で、洗濯に \$1.5、乾燥に \$1.5 かかるので友達と洗濯物を一緒に合わせて交代交代で洗っています。現状、こちらでの生活は最初に meal plan を申し込めば日常生活に必要なお金はほとんどかからないと思います。そもそも物価は日本とさほど変わらないので無駄なものをたくさん買う気にもなれません。

9月はたいしたケガも体調不良もなく、健康的に過ごせました。精神的にも健康だと思います。時折、自分が日本にいない間に、大学で所属していたサークルや部活で様々な変化があり、自分がその場に立ち会えないことに寂しさを覚えることはありますが、そこは割り切っていきたいです。

最後にひとつ。カナダにはチップを払う文化がありますが、これには気を付けたほうがいいです。私は日本からの飛行機でシャーロットタウンに乗り継ぐ前に、トロントで一泊する予定がありました。トロント空港に着いた後、自分の荷物が見つからずにキョロキョロしていると、ポーターに声を掛けられました。私は長い時間のフライトで疲れていたため、いち早くホテルに行きたかったのですがポーターに荷物を見つけてもらってバス停まで運んでもらうことにしました。ポーターへは、まず \$10 を仕事料金として払います。加えてチップを支払う必要があるのですが、相場としては \$3 くらいと言われているところをとろとろを、感謝の気持ちを込めて \$10 払いました。しかし、ポーターは不服そうに \$10 を受け取り、「この前日本人を案内したときにはすごくお礼されちゃって、\$100 もらったんだよね。今回もそのくらい貰えると思ったんだけど。お財布にたくさんお金入ってるでしょ？もっと頂戴よ。」とさらに要求されました。断りを入れて離れましたが、初めてのカナダで不安になっているときに、とても嫌な思いをしました。すべての空港のポーターがこのような人ではないと思いますが、私のように不安げにきょろきょろしていると、

外国に不慣れな雰囲気が伝わってしまい、その手の人にとって格好のカモになってしまいます。なので、カナダに来た当初の印象は最悪でした。チップを渡す文化だけはまだ慣れませんが、気を引き締めて、以後変な要求をされても軽くあしらえるようにしたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01~2017/10/31)

1、勉学の状況

今月は中間テストが2つ、プレゼンテーションが1つあったため、比較的に勉強で忙しい月でした。中間テストはどちらも平均点以上とれたのと、グループプレゼンテーションが全14チーム中で最高評価を貰えたことがとてもうれしかったです。ちなみに、私のチームのプレゼンのお題は「風力」でした。

授業中のグループワークにはまだ慣れませんが、少しずつ意見を言えるようになってきました。また、最近先生がグループワークでどんな問題をだすのかだんだんとその傾向がわかってきたのでしっかりと復習してグループワークで周りに貢献したいです。

もう2か月目になると、授業が聞き取りにくいということもなく、普通に授業を受けられます。しかし、たまに情報量が多すぎて結局どうしたらいいのかわからなくなってしまう時がありますが、素直に一緒に授業を受けている友達に色々助けてもらったりしています。

また、中間テストを機会に勉強の仕方がわかってきたので、要領よく勉強を進めていきたいです。

2、生活の状況

今月は週末に旅行に行くことが多かったです。プリンスエドワード島はそこまで大きい島ではないので、友達に車であちらこちらへと連れて行ってもらいました。シーズンが過ぎているためか、レストランや施設など閉まっているところが多かったため、自然の中を散策しました。

また、今月はホームシックになってしまった時期が一週間ほどあり、精神的に辛かったのですが、日本の家族や友達とスカイプしたり、適当に音楽を聴いたりするうちに良くなりました。留学する前、自分はホームシックにはならないだろうと思っていたのですが、意外となってしまうしました。寂しい気持ち、帰りたい気持ちなどはありますが、そういう気持ちも大切にしながら過ごしていきたいです。

ジムに通い始めてから一か月弱経ちましたが、かなり変化がありました。まず体重は7キロ増え、腕や胸板が明らかに厚くなりました。家族にはジムに通っていることを話していないので、帰るまでにさらに鍛えてみなを驚かせたいという思いで頑張っています。体を鍛えるとなんだから心身ともに強くなっている気がして気持ちがいいです。

最近は自分で食事を作ることが増えました。というのも、寮の食事に飽きてしまったためです。ダイニングホールにはキッチンが備えてあり、そこに調理器具や調味料などがあります。そこで、ダイニングホールにおいてある野菜などを使って簡単に料理を作れます。最近では味付けを調整して自分好みの味にしてごはんを食べています。

今年は例年と比べて気温が高いようで、10月の終わりは15度前後の気温で、半袖で過ごせるくらい快適でした。しかし、10月の半ばに-2度まで気温が落ちた日があり、カナダの冬の片鱗を見た気がします。冬に備えてスノウシューズの購入は必須のようです。

こちらにきてからずっと感じていましたが、ここの島から見上げる空はいつも綺麗です。基本的に晴天で、雨が降り続けている日なんて1日もないです。なので、こっちは人は雨が降っていてもすぐに止むことがわかっているので傘を差しません。私はつい折り畳み傘をさしてしまいます。一番美しい空は夕焼けです。いつもジムの帰りに空を見上げながら帰るくらい綺麗です。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01~2017/11/30)

1、勉学の状況

今月は、今までで一番忙しい時期でした。第二回中間テストに合わせて、二つのプレゼンテーションがあり、加えて来月には最終試験が控えているので気が抜けません。今回の中間テストは前回よりも難易度が増し、クラスの平均点が下がるとともに、もれなく自分の点数も下がっていました。テストを受けて思ったのが、全くわからない、お手上げという問題はなく、全問になにかしらの知識があったのですが上手く書き表せないことがありました。もう少し、一つ一つのトピックを重点的に勉強すべきだったと反省しています。

プレゼンテーションは、二つともグループプレゼンテーションです。どちらも一人10分ほどと決められていたので、それ相応の資料を読み漁り、原稿を書き、それを覚えていかにプレゼンの際にスムーズに言えるかを練習してから挑みました。結果、緊張もあり、言葉に詰まることも多々ありましたが、なんとかプレゼンを終えることができました。私は手元にメモ用紙を持ち、それをちらちらと見ながらしゃべっていたのですが、ほかの人はメモを持たず、自分の発表内容を完全に理解して話しているようでした。それゆえか、そういう人たちの発表はとてもわかりやすかったです。ここで、ただ「覚えること」と「理解すること」の差を感じました。この授業の後、私はただ「覚えて」喋っただけで、自分のプレゼンはあまり響かなかっただろうかと、後悔し、次に活かしたいと思いました。

2、生活の状況

今月は勉学の忙しさはありましたが、11月初めの4連休を使って友達と Nova Scotia まで行きました。朝早くに Cape Breton を散歩し、野生のコヨーテやリスなどを見つけました。この4連休で Nova Scotia の色々なところへ遊びに行き、とてもいい思い出が作れました。

基本的に上記の旅行以外は何もせず、部屋か図書館で勉強したりダラダラしたりを繰り返していました。また、毎日のように言っていたジムにも行っていないせいか、体重が減ってしまいました。この間久々にジムへ行ったら筋肉痛になりましたが、とても気分が良くなったので、30分でも時間が空いた時はジムに足を運ぼうかなと思います。

最近、ちらほらと雪が降るようになりました。聞いたところによるとプリンスエドワー

ド島は湿度が高いので、カナダ本土の極寒にも引けを取らないくらい寒くなるそうです。本格的に雪が降り始めると、腰の位置まで雪が積もるようになるそうなので、スノウブーツを買いました。また新しくウィンターコートも買いました。ウィンターコートはブラックフライデーを利用して、一番安くなっているときにとてもいいものを買うことができたので良かったです。

今月はルームメイトとの仲が深まった気がします。今月になってルームメイトと適当に話している時間が増えました。おそらく、ルームメイトの所属するサッカーのシーズンも過ぎ、部活で時間を過ごすようになったため、よく日中に部屋で一緒にいることがあるからだと思います。

今月も心身ともに健康に過ごせました。けがや病気だけは一番避けたいと思っているので、これからもこの調子で過ごしたいです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/12/01~2017/12/31)

1、勉学の状況

今月は、月初めに授業が終わり、数日明けてから最終試験がありました。私は4つの講義のうち、3つは最終試験があり、1つは最終レポートでした。試験勉強はコツコツと進めていたので、最終試験で失敗はしませんでした。

最終試験の手ごたえとしては、今までの中間試験と比べると段違いに難しい、と感じました。試験時間は3科目ともそれぞれ3時間あり、試験範囲はもちろんいままで学習した全範囲です。しかし、どの科目も3時間フルに使わないと終わらないような長い問題ではなく、2時間弱あれば軽い見直しもできるような問題量でした。最終レポートのほうも期日前に無事に終わらせ、ようやく冬休みを迎えました。

私は最終試験に向けて図書館で勉強することが多かったのですが、テスト期間中はコーヒーやお菓子が図書館に用意されていたり、自由に使える裏紙がおいてあったりと、とても勉強に親切な環境でした。

2、生活の状況

今月は12月の中旬から冬休みに入りました。冬休みに寮に残るには許可が必要で、基本的にはみんな自分の家、国に帰るそうです。私は許可をもらって寮に残りました。驚いたことに、おそらく寮生の90%近くが冬休み中は家に帰っています。私含め、寮に残る人はとても少ない様子です。大学校内にも人気は全くありません。

冬休みは友達と遊んだり、旅行に行こうと思ったのですが、友達になった交換留学生はみな帰国し、現地の友達もカナダ本土のほうへ帰ってしまいました。寮の中に残っている友人はいません。なので、思ったよりも孤独な冬休みになってしまいました。外はもう、気温が-10℃~-20℃にもなっているので好んで出ようとは思いませんし、出たところで大学の周りにはなにもありません。なので、冬休みは基本的に部屋の中にこもっていました。部屋の中で筋トレをして、ネットでニュースを見て、ゲームもして、アニメやYouTubeを見て、それだけで一日が終わってしまう日もあります。ただ、さすがにこもりつきりは嫌なので、ダウンタウンのほうに住んでいる日本人の友達によく合いに行ってご飯を作ってもらいました。

冬の間は食堂が閉まっているので、ごはんは自分で作るしかありません。しかし、寮の

キッチンには調理器具はおいてありません。ただキッチンがあるだけです。短い冬に料理をするために調理器具を買うのも気が引けるので、スーパーでパンやお菓子を買って済ませる日が多いです。ダウンタウンにいる友人の都合がいい日は、一緒に買い出しに行って、友人宅で料理をしてご飯を食べます。しかし、その友人は年末年始は旅行に行くらしく、私の食生活がピンチです。せっかく育てた筋肉のためにも、たくさんご飯を食べたいです。そう思っていた矢先、同じ寮にいる、現在帰国している友人が年末に帰ってくるらしく、調理器具もそろえてくるそうなので一緒に料理を作ることになりました。友人には感謝です。

今年は、まるでクリスマスなんてなかったかのように過ごしましたが、来年は楽しいクリスマスにしたいなと思いました。

今年ももう終わりだと思えば、とても留学があつという間に感じます。留学だけでなく、留学前の様々な出来事も同様に感じます。今年は色々な課題、様々な気持ちを乗り越え、自分の人生において確かな一歩を踏み出せた一年になったのではないかと、今年を振り返って思いました。留学はやっと折り返しを過ぎたころですが、残りの留学、来年帰国してからどんな出会い、体験があるのか、いまから楽しみです。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/01/01~2018/01/31)

1、勉学の状況

今月から新学期が始まりました。授業は環境系の授業を3つ取り、そのうち一つは400番台の授業を受講しています。前期と同様に授業を4つ取ろうかとも思いましたが、400番台の授業が忙しかったためにこれ以上授業を取りませんでした。

今月はいままでの留学で一番暇がなく、勉強で忙しい月になりました。3つとも授業は少人数のディスカッション型で、一回でも授業を休んだり、勉強を怠ったりすれば置いてけぼりになります。3つのうち、2つの授業で毎回リーディングが課され、毎日何時間もリーディングをしてレポートを提出しています。クラスでは周りの生徒のレベルが前期よりも上がり、また授業の内容も難しくなったために、なかなか思うような発言ができません。授業内容は各週のリーディングにマッチした内容になっているので、リーディングにもっと手間をかけて理解すれば、授業も理解しやすくなるだろうと思って頑張っています。

今月を通して感じたことは、リーディング能力の上昇です。だんだんとリーディングの速度が上がっているのはもちろん、さっと目を通して、リーディングの主要点や事実などを瞬時に見分けられるようになったことです。これにより、ずっと毎日課題に追われるだけでなく、心に余裕を持てるようになったのは自分ではとても大きな変化だと思いました。

2、生活の状況

今月は、留学を始めてから一番つらかった月かもしれません。月初めに人間関係でトラブルがあり、しばらく鬱のような状態になり、勉強にも集中できない状態になりましたが、友達に色々愚痴を聞いてもらい、なんとか復活しました。今月はただでさえ勉強が辛いのに、追い打ちをかけるように色々なことが起こってとても疲れしました。

前期は朝昼晩と毎日おなかがいっぱいになるまで食べて、体重を増やし、筋トレのためジムへ通いましたが、今年に入ってから1日2食の生活となり、ジムへ通う頻度も少なくなりました。しかし、いままでの成果を無駄にしたくないので部屋で最低限の自重トレーニングは行っていました。おそらく、2月の半ばに勉強がひと段落するので、そこでがつつりと筋トレしようと思います。

今月は勉強で忙しかったため、特にどこかへ出かけたりはしませんでした。精々、スーパーへ買い物に行く程度です。課題を終えて、自分のベッドの上で転がっているわずかな

時間がとても幸せに感じる1月でした。今月はこのように疲れて気力をなくして、ベッドで仮眠をとったり、早めに就寝したりということが多かったので、一番よく寝た一か月でもあると思います。

今月、自分にとって一番うれしかったことは、ルームメイトが部屋を去り、二人部屋を自分一人で使えるようになったことです。ルームメイトは部活の友人の部屋に移って一緒に住むようで、部屋を月初めに出ていきました。一人で部屋を使えるようになると、2人部屋の時よりもはるかに気が楽です。電話するときもいちいちルームメイトを気にして外に出なくても済むので、生活がとても楽になりました。部屋も、自分の好きなようにアレンジして快適に過ごしています。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/02/01~2018/02/28)

1、勉学の状況

今月は月初めにグループプレゼンテーションが二つありました。プレゼンに向けて、グループのメンバーで都合の合う時間に話し合いと練習を重ね、プレゼンに挑みましたが、片方は高評価をもらい、もう片方は普通の評価を貰いました。普通の評価を貰ったほうは自分たちのプレゼンの至らなさはもちろんありましたが、吹雪による大学閉鎖などが重なり、プレゼン当日までお互いあって練習できなかったのが大きかったかなと思いました。こればかりは仕方ないと思ってしまいます。ちなみにプレゼンの内容は「インドネシアのパーム油と森林破壊」、「循環経済」についてでした。

プレゼンが終わってからは特にテストや試験もなく、ゆったりと座学が続きました。今月は先月に比べて体がだるい感じがあり、おとなしく座学で勉強しているのは休憩になったかなと思いました。来月からはまた試験や山のような量の課題が待っているので、そろそろ気を引き締めます。

今月は自分のディスカッション能力が少し上がった気がしました。少しずつ、少しずつ効果的な発言ができるようになったかなという感じです。

2、生活の状況

今月はプレゼンが終わってからは、いつものように朝起きて授業へ行き、授業帰りにお昼ご飯を食べ、仮眠をとってジムへ通い、夜は勉強したり、料理をしたり、友達と話したりという普遍的な毎日を過ごしていました。今月特筆すべきことは、1週間ほどの **Reading Break** というゴールデンウィークのような短期休みがあったことです。

この短期休みの間は、友達の誕生日を祝ったり、友達とカフェにいてお話したり、ダウンタウンを散策したりと色々なイベントがありました。休み明けに大学に行くのが億劫になるほど遊んでしまいました。

2月の後半になると、この島もだいぶ暖かくなってきました。気温は最高気温が2度、最低気温が-2度というような温かきで、大雪はもう降ることはないでしょう。暖かくなったのはうれしいですが、12月あたりに買ったお気に入りのジャケットをもう着ることがなくなると思うと少し残念です。

最近また思うてしまうことがあります。こんなことは言いたくないのですが、やはり寮の食事はおいしくないです。私は体重を増やしたい意図もあり、たくさん食べるように心

がけているのですが、食堂にいったごはんをみると食欲をなくしてしまう日があったりします。2月になってからおなか一杯満足に食べたと思った日はあまりありません。留学当初はハンバーガーでも毎日パクパク食べていましたが、飽きは来るものですね。自分で作るかつ丼などの日本食が一番おいしいです。後期は寮を移って自炊してもよかったかなと思ったりしました。

留学もあと2か月もすれば終わりだと思うと、いままでがあつという間のように感じます。授業は4月の初旬に終わり、そこからは最終試験なので、授業は実質あと1か月ほどしかありません。そう思うともうすぐ日本に帰る実感がわいてきます。残りの留学も気合を入れて頑張っていきたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/03/01~2018/03/31)

1、勉学の状況

今月は学期の終わりが近づいていることもあり、今までで一番忙しい月になったと思います。今月の初旬に提出の研究ペーパーが二つあり、片方はプリンスエドワード島の林業マネジメントについて、もう片方は人工衛星のリモートセンシングの発展について書きました。人工衛星のほうのトピックについては全く未知の分野でしたが、題材を見つけた時にピンと来たので調べてみることにしました。人工衛星の観測技術の発達とその運用方法について詳しく知ることができ、実際に調べてみてよかったな、と思えるような面白いトピックになりました。

今月末にはプレゼンテーションが3つあり、そのうち2つはグループで6~7分ほどの小さなプレゼンでしたが、残りの一つは個人プレゼンで10分以上が基準の難しいプレゼンでした。このプレゼンは研究ペーパーで提出したトピックをもとに作るものなので、必然的に人工衛星のリモートセンシングについて話したのですが、正直あまり上手くいきませんでした。一人でプレゼンをするのは初めてではありませんが、大学4年生や大学院生、社会人を相手にプレゼンをしたので緊張で台詞があたまからすぐなくなりました。プレゼン開始2分ほどで口の中の水分がなくなるほど渴き、プレゼンを終えるころにはのどがひりひりするくらい痛かったです。プレゼン後の質疑応答ではなんとか落ち着いて答えられました。プレゼン中何度も台詞をかんだり言い直したりしたので、終わってから気分が沈みました。それでも、聞いてくださった方や先生に良かったよと言ってもらえたのがうれしく、印象に残りました。

2、生活の状況

今月は今までで一番課題で忙しいこともあり、心身の疲労がとて溜まりました。ジムにもここ1か月通っていません。友達にも「やせたね」と言われてしまったので相当疲れてるな、と思いながら過ごしていました。しかし、あともう一息で課題もテストもすべて終わります。

個人的な今月のハイライトは、サーモンアボカド丼を作ったことです。スーパーでアボカドとサーモンを買い、しょうゆ、みりん、砂糖などの調味料を炊き終えたお米と混ぜて味をつけ、その上に小さく切ったサーモンとアボカドをのせて完成です。非常においしかったので、日本に帰ったらまた自分で作ってみたいと思いました。

そういえば今月は自分の誕生日がありました。やっと成人と言われる年齢になったわけです。誕生日が来るたびに、時間がたつのが早いと思います。家族と誕生日は祝えませんでした。が、こっちの友達とたくさんパーティーできました。驚くことに、誕生日が2日違いの友達が二人おり、3人の分をまとめて祝いました。

今月は精神的に辛かったからか、もしくはもうすぐ日本に帰れるからか、少しホームシックでした。留学から帰った後のことを考えて、不安になったりもしました。帰るころには自分だけでなく、周りの様々なことが変わっています。そのことを帰国後に新鮮だと思えるのか、それとも疎外感を感じてしまうのか、自分はどっちなのだろうかと思っています。とりあえず今は目の前の課題に集中します。残り少しの留学を精一杯楽しみたいと思います。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2018/04/01~2018/04/30)

1、勉学の状況

今月はいよいよ留学最後の月でもあり、試験が一番忙しいときでもあります。今月の初旬はプレゼンテーションを一つ終わりました。これは授業中に出された課題である「海辺の砂丘」について簡潔にまとめたもので、それほど時間と労力はかかりませんでした。4月の5日に授業がすべて終わり、そこからはレポートと試験勉強に追われました。4月の中旬に提出のレポートが二つ、そして最終試験が一つありました。レポートはいままでの授業を踏まえたまとめと復習のようなものでした。片方はいままでのプレゼンで使った題材をさらに詳しく書いたレポートで、もう片方はプリンスエドワード島の環境マネジメントについて書きました。地学の授業の最終試験はやはり難しく感じましたが、一問一問見直しながら答えました。

留学を終えて、振り返って思ったことは、こちらの授業は留学前に想定していたよりも内容が豊富で、自分の環境に対する興味だけではなく、ほかの分野への興味を持つようになりました。また、目当てであった環境系の授業では、留学前に自分が調べて知っていた以上の情報を得ることができたので、とても有意義な留学になりました。

2、生活の状況

今月は一番最後の最終試験が終わるまではだいたい部屋に引きこもって生活していました。授業が5日に終わったのをいいことに、昼夜逆転の生活をはじめ、朝はがっつき寝て夜に勉強したり、余裕ができたなら友達と遊んだりしていました。また、最後くらいはお金を使おうと思い、スーパーストアへと今月の初旬に買い出しに行き、部屋の中にあっけの飲料水とスナック、食糧をため込んだので、自分の好きな時間にご飯を食べられるようにして、最適な環境を整えました。いつしか私の部屋には常に4~5人が滞在してお菓子を食べたり、おしゃべりしたり、勉強したりと、賑やかな部屋になりました。

最終試験が終わったのは4月の18日でした。テストが終わってからは、まるで月にいるような軽い足取りで自分の部屋へと戻りました。翌日に島を出てトロントへと旅行をするので、友達を呼び、残りの食糧を食べつくし、さらには部屋の日用品などを処分していつでも出発できるようなまっさらな状態へと戻しました。明日みんなと離れ離れになるなんて信じられないなあと、友達と語り合いました。

4月の19日、朝早くに部屋を出て空港へと向かいました。友達とお別れのハグをして、

世話になった自分の部屋へ心の中でお礼を言い、タクシーと一緒に旅行する友達と向かいました。空港へ向かうときに思ったのは、なんだかんだ、この場所にとっても愛着があったのだなということです。自分が想定していたよりもみんなとの別れが、島との別れが寂しいことに気づきました。

4月の20日～25日はトロント旅行に精を出しました。この6日間で、トロントで行かなかった場所はないんじゃないかというほど様々な場所へ行きました。友人と二人で旅行していたのですが、毎日10キロ以上歩き、へトへトになりながら観光しました。この6日間で思い出に残ったことは、CNタワーという、日本で言う東京タワーのような観光場所で、タワーの上へと登り、日の入りから夜になるまで景色を眺めました。夜景はとてもきれいで感動しました。さらに、有名なナイアガラの滝に行くこともできました。滝へはかなり近づくことができ、その水量に圧倒されました。滝の近くはとても涼しく感じ、その時は半そでだったので思わず鳥肌が立ちました。他にもビーチやお城、トロント大学など様々な場所を観光しました。

4月の25日、友人が先に帰国する予定だったので空港で別れを告げ、後を追うように自分も数時間後にチェックインをして飛行機に乗り込みました。機内では、ほぼ一年ぶりに日本に帰れるという期待と、帰れることが信じられない非現実感がありました。しかし、日本に着いた途端にすべてを実感しました。友人や家族、家にも様々な変化があり、その日は家族と語り合いました。